

まつさか市議会だより みてんか

まつさか市議会だより

vol.104
2025.3.1

「みてんか」は電子ブックやPDFでもご覧いただけます。



11月定例会

議決結果

委員会での主な質疑

一般質問

お知らせ



— 巻頭特集 —

クローズアップ

令和6年11月定例会（11月18日～12月9日／会期22日間）

01

令和6年度一般会計補正予算

議案第89号 令和6年度松阪市一般会計補正予算(第4号) ほか各種補正予算5議案

令和7年1月から1年間かけてさまざまな事業を実施する「市制20周年記念事業」や、市内の小中学校（計36校）の体育館や松阪市武道館など体育施設への空調設備の導入、公立保育園等での「紙エプロン・手口ふきの定額利用サービス」の実施業務の委託など、新たな市民サービスの推進のための事業経費などを含む補正予算を審議し、可決しました。



— 主な事業 —

- 市制20周年記念事業（市民公募）補助金23件
- 市制20周年記念まつさかさ大集合事業
- 市制20周年記念推進のための講演会
- 令和7年度 紙エプロン・手口ふき定額利用サービス事業委託料
- カーボンニュートラル実現のための生ごみ堆肥化容器等購入補助金
- 小中学校体育館空調設備設置に伴う現状把握調査や計画作成等の発注支援業務委託
- 松阪市嬉野体育センター及び松阪市武道館への空調設備設置にかかる実施設計業務委託



02

次の選挙から議員定数が24人に

発議第18号 松阪市議会議員定数条例の一部改正

令和7年7月に実施される市議会議員選挙から、議員定数が4人減の24人となります。

令和6年2月から本格的に議論を始め、松阪市議会議員定数等の在り方調査会とし、大学の先生方4人に検討を依頼し、他市の事例や議会としてあるべき姿、地域との関わり方をどう考えるか、多様な意見を市政に反映させていく取り組みなどを総合的に考慮し、答申をいただきました。

頂いた答申や松阪市住民自治協議会連合会からのご意見を踏まえ、行政のチェック機能だけでなく、議会から政策を提言していくための最低限の人数構成を検討した上で、議会内でもさまざまな議論がなされました。

人数が減ることで市民の方々からの声が届きにくくなったり、議会としての力が低下してしまったりすることのないよう、より一層、議会全体で地域や市政と向き合ってまいります。



11月定例会の議決結果

check!! →



○は全会一致、●は賛成多数
 塗りつぶしの●は、賛否が分かれた議案等です。
 議員の賛否内訳は下の表をご覧ください。
 過去の賛否内訳も議会ホームページから見るができます。

議案番号	件名	審議結果	議案番号	件名	審議結果
令和6年度補正予算	89 一般会計補正予算（第4号）	●	条例	100 総合運動公園デイキャンプ場条例の一部改正	○
	90 介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	○		105 一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正	○
	91 水道事業会計補正予算（第2号）	○		106 職員の給与に関する条例の一部改正	○
	92 下水道事業会計補正予算（第1号）	○	人事	107 公平委員会委員の選任	○
	93 松阪市民病院事業会計補正予算（第1号）	○		108 監査委員の選任	●
	104 一般会計補正予算（第5号）	○		109 教育委員会委員の任命	○
条例	94 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	○	その他	101 総合計画基本構想	○
	95 職員退職手当支給条例の一部改正	○		102 公の施設に係る指定管理者の指定（豪商のまち松阪観光交流センター、旧長谷川治郎兵衛家、旧小津清左衛門家及び原田二郎旧宅）	○
	96 手数料条例の一部改正	○		103 財産の取得	○
	97 子ども発達総合支援センター条例の一部改正	○	発議請願	18 市議会議員定数条例の一部改正	○
	98 飯高地域資源活用交流施設条例の一部改正	○		7 行政書士制度の理解及び行政書士法遵守に関する請願書	○
	99 総合運動公園運動施設条例の一部改正	○			

表決がわかれた案件に対する各議員の賛否

議案番号	議員名	政友会							蒼水会					市民クラブ				公明党			会派に所属しない議員							
		中村 誠	松本 一孝	市野 幸男	田中 正浩	米倉 芳周	坂口 秀夫	野呂 一男	山本 芳敬	森 遥香	野呂 一平	赤塚 あり	深田 龍	沖 和哉	濱口 高志	東村 佳子	吉川 篤博	橘 大介	楠谷 さゆり	中島 清晴	小野 建二	奥出 かよ子	松岡 恒雄	小川 朋子	殿村 峰代	西口 真理	海住 恒幸	久松 倫生
89		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
108		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長 中島 清晴 は採決に加わりません。
 ○は賛成した議員、×は賛成しなかった議員。



総務企画委員会

市制 20周年記念事業(行政情報番組制作事業費)

問/映像として後に残るものなので、誤りがないよう内容を十分に精査しなければならないが、どのような委託になるのか。

答/映像作成にあたり、20周年の歩みに相応しい映像を選定する必要があり、使用映像は落札業者に一任ではなく、市主導で選定していく。



市制 20周年記念事業(まつさかさん大集合)

問/「まつさかさん大集合」について、後々市に残るものとして企画されたのか。

答/来年は全国的に市制20周年の自治体が多い年である。市外に向けてインパクトのある事業を行うことで、他の自治体に埋もれることなく、松阪市の知名度向上につながると考えている。

文教経済委員会

屋内体育施設等への空調設備導入

問/空調設備が導入される学校とそうでない学校で不公平感がある。対策は冷風機、大型扇風機だけでよいのか。

答/引き続き熱中症対策について調査、研究していく。



意見

検討し、不公平感のないようしっかりとフォローしていただきたい。

松阪市飯高地域資源活用交流施設条例の一部改正^(※1)

問/年間売り上げ目標300万円の根拠は。

答/協議は行ったが詳細な計算はしていない。食事や体験とのセットプランで考えている。

意見

民間感覚を持ち調整していただきたい。

※1 道の駅「飯高駅」に新設されるコテージに関する内容



環境福祉委員会

生ごみ堆肥化容器等購入補助金

問/ごみの減量に効果があるのか。

答/生ごみは水分量が80%と言われており、生ごみ処理機を使うと水分量を減らすことができる。また生ごみ堆肥化容器にも補助金を出しているので堆肥をご家庭の菜園等に活用でき、ごみの減量にもつながっている。

問/生ごみ処理機は人気があり転売が行われやすいと考えられるが、購入後の調査などはしているのか。

答/転売の調査はしていないが、生ごみ処理機の購入時に補助金を一度交付したら5年間は交付しない要綱となっている。



意見



効果・検証も含めて補助金を出して終わりではなく、事後の調査も行っていたきたい。

建設水道委員会

松阪市総合運動公園運動施設条例の一部改正

問/クラブハウスと多目的施設棟の会議室を、令和7年4月から使用料を徴収するとした理由は。

答/総合運動公園内の他の会議室とのバランスをとるため。利用者全体が使える施設として、同時に徴収する形とした。

問/会議室の使用時間が、午後4時30分までとなっていて使い勝手が悪い。なぜか。

答/キャンプパーク職員の配置時間に合わせた。

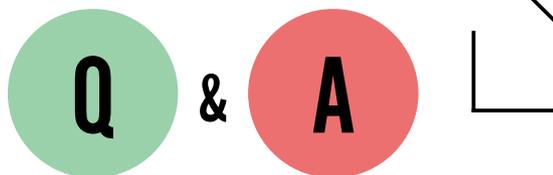


意見



クラブハウスは午後10時まで使用できる。会議室の時間についても今後検討を。





一般質問

11月26日、27日、28日、29日の4日間、21人の議員が市の執行部に対し、一般事務の執行状況や、将来に対する方針などについて、一人あたり50分（答弁時間含む）の時間制限の中で質問しました。

◆ 一般質問スケジュール

11/26

坂口 秀夫
吉川 篤博
濱口 高志
殿村 峰代
田中 正浩
海住 恒幸

11/28

中村 誠
西口 真理
山本 芳敬
米倉 芳周
橘 大介

11/27

森 遥香
久松 倫生
東村 佳子
奥出 かよ子
市野 幸男

11/29

小野 建二
松岡 恒雄
野呂 一平
楠谷 さゆり
小川 朋子

- ※ 一般質問のページの原稿は、本会議での発言を要約し、議員自身が作成したものをそのまま掲載しています。
- ※ 二次元コードからは、各議員の一般質問の動画をご覧いただけます。（別途通信料が発生します）



政友会



さかぐち ひでお
坂口 秀夫 議員



松阪市役所庁舎の現状と

将来に向けて

問 現庁舎の長寿命化をされる中、本庁舎付近は浸水区域とされたこと、会議室の不足、狭隘なこと、防災拠点となる。市民の安全・安心の拠点としてどうか。

答 災害対策本部は、本庁舎が使用できない場合、代替本部として松阪市産業振興センターを使用する。利用者の視点での窓口の在り方、時代のニーズに合わせて各部署が協力し、積極的に取り組むことで、より快適で効率的な環境の実現を目指していきたい。

▶
築55年が経つ、
松阪市役所庁舎



松阪市みんなでまちを

きれいにする条例への取り組みは

問 ポイ捨ての現状をどのように捉えているのか、どのようにすれば少しでもポイ捨てや不法投棄が減らしていけるのか。

答 松阪市みんなでまちをきれいにする条例が施行され10年が経過しているが、多くの課題が残っている。解決には、みんながまちをきれいに保つ、小さなごみであってもポイ捨てをしない、法やマナーを守る意識を持ってもらう必要がある。啓発によるモラル、マナーの向上を目指す条例であり、今後も継続した啓発を行い、意識の浸透を図っていきたい。

市民クラブ



よしかわ あつひろ

吉川 篤博 議員



蒼水会



はまぐち たかし

濱口 高志 議員

「いきいき学校プロジェクト」の
成果と課題

- 問** 不登校児童・生徒の現状は。
- 答** 不登校児童生徒数は、依然として高い数値で推移している。
- 問** 「いきいき学校プロジェクト」の成果と課題は。
- 答** 不登校を生まない「スリンプルプログラム」を作り、支援体制の充実を図り、不登校の児童生徒数やいじめの件数も減った。次のステージに進んでいきたい。

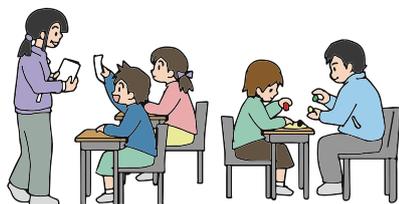


学校教育の充実のために

- 問** 「特別支援学級」の児童生徒への支援体制の現状と課題、「学校生活アシスタント」等、来年度の配置状況の見込みは。
- 答** 減員させることなく、有効な配置方法を研究し、待遇改善を図ってきた。
一人ひとりの子どもにとって、効果的な支援体制はどのように進めていくのかを検討し、より働きがいのある職となるよう、研究を進めていく。
- 問** 特別教室等への空調設備設置と、学校施設への大規模修繕・長寿命化計画の進捗状況とタイムスケジュールは。
- 答** まずは小中学校体育館への空調設備整備を進めていく。学校施設の整備については、おおむね計画通りに整備を進めている。

その他の質問

- 幼稚園教育と認定こども園のこれから



こんなに長い夏休みは必要か？

- 問** 夏休みは明治14年に始まったもので、教育委員会で期間が決められる。教室にエアコンが付いたので、こんなに長い夏休みは要らないのではないか。
- 答** 平素では体験できない活動ができ、身体の休養期間となる。
- 意見** 経済的に余裕があれば体験もできる。塾にも行け、学力差が大きくなる。
また日本の子どもは9人に1人が貧困状態で、夏休みには、この半数が昼食を食べられない。
給食に携わる方も仕事は年間を通じて均等にあった方がよい。
夏休みを登校日にすれば、5限授業の日を増やすことができ、先生や子どもにとって楽になる。
夏休みを半分にすれば、こういう問題を全部解決できると思う。



移動期日前投票所の設定を！

- 問** 高齢者は投票に行きたいが移動手段が無いので行けない方が多い。そこで、移動期日前投票所を設置してはどうか。
- 答** 費用対効果や公平性、風雨などの天候対策等のリスクを考える必要がある。選挙管理委員会の議題としていきたい。
- 意見** 友好都市の浜田市、県内では桑名市が実施している。先進事例の研修を行い、投票率向上に努めていただきたい。

移動期日前
投票所

会派に所属
しない議員とのむら みねよ
殿村 峰代 議員

政友会

たなか まさひろ
田中 正浩 議員松阪市は安心して暮らし続ける
ことができる地域か 医療編

問 松阪市以外、県内どこもっていない未就学の子ども医療費の窓口負担がある。安心して医療を受けられる地域か。

答 医療費の増加を抑制するため市民意識調査で、7割超える方に賛同されている。

問 行政主導の選定療養費の徴収。本当に救急車の出動を減らしたことが住民の安心につながっているか。

答 持続可能な松阪地区の救急医療体制の整備に一定の寄与が確認できた。

意見 津市の移動する救急隊 MOA は平日限定で駆けつける救急車。このような整備の方が安心な医療を提供できる施策だ。

問 市民病院の今後は指定管理で丸投げにならないか。対等な対話ができる施策部署が必要だが、利益相反にならないか。

答 業務仕様書の中で、運営の協議会を作り、きちんと地域医療を守っていく。

問 認知症予防は効果的仕組みで継続、循環していく必要があるが、フレイル、加齢性難聴、嚥下対策・外出支援対策はどこまでか。

答 フレイル予防は介護予防教室を通し、自主グループを立上げ、継続した取り組みに。嚥下対策は60歳からの出前講座で歯科衛生士等専門職の口腔ケア講座を開催。地域に応じたバス、車両活用の連携研究。

意見 聞こえの問題の対策を。

その他の質問

- ・安心して子育てできる教育現場とは
- ・震災への備えは十分か

学校前停留所の横断歩道のない国道

住民自治協議会連合会
議員定数削減意見書は条例違反では

問 市議会が有識者による市議会議員定数等の在り方調査会を設置、同調査会は第3回の会議で、定数を28で据え置く方向の意見書を提出したことに、松阪市住民自治協議会連合から据え置きは納得がいかないと同調査会に定数削減を求めて意見書を提出した。政治的ではないのか。

答 住民自治協議会地域づくり組織条例の8条に「政治上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対する活動」と規定されており政治上の主義に反するものではない。

問 議員定数削減は人口減少や人件費削減で出てきたが、山中市長の時、副市長2人制に。副市長の1名は別のところから新しい考え方を入れている副市長2名であったが、今の副市長2名は本当に必要か。

答 市民ニーズが多様化、複雑化している。迅速かつ的確に対応し、市政運営を進めるためにも副市長2名は必要である。

意見 議会で必要なことは、多様な意見を反映し、中身のある議論をすること。議員定数削減はその後に来る。多様な意見が反映されず、執行部の追従機関だけなら、地方議会は必要ないことになる。多様な意見の反映と充実した議論、そしてそれらを見える化することがまず第一。それができれば、削減の必要はなく、できなければ議員定数を減らすべき、まず削減ありきでは順序が違う。





配布実績 50%?

選挙公報は全世帯に

問

選挙公報の届かない世帯はどれだけか。

答

直近の衆院選で50%である。

問

全世帯に届くようにすべきではないか。

答

他市において全戸配布している手法を参考にしながら調査研究をしたい。



入院かどうかで線引きしようと

したのは松阪市の失敗

問

救急搬送された患者で選定療養費を徴収されたのは13.5%にとどまったという。逆に入院に至らなくても医師の判断で緊急性があるとされた患者が86.5%となったことは重要だ。入院に至らなかっただけで選定療養費を取っていたら、これだけの方が選定療養費の対象となっていた。それはあってはならない。これからも医師の判断を緊急性があるかどうかの唯一の判断基準としていくことに変わりないか。

答

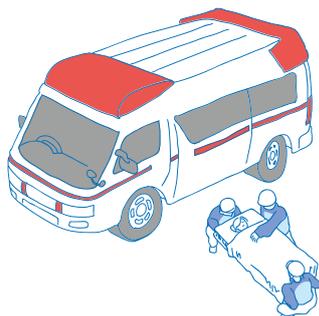
選定療養費は、国において緊急の患者には徴収を求めてはならないとされている。したがって緊急性は医師のほうで判断していただく。

問

医師の判断基準の統一はこれから考えるか。

答

医師によって緊急性のあるなしの判断に差異があるのは課題。その差異の部分を通認識とし、ある程度統一をしていこうと考えている。



松ヶ崎地区と米ノ庄地区の

学校再編活性化

問

学校間の児童交流において、同学年が一日一緒に過ごす時間を作れないか。

答

令和7年度は修学旅行や遠足、運動会を一緒に行うなど児童からのアイデアを取り入れつつ企画を支援していきたい。

問

通学時間の変化による生活リズムの変化や、少人数から大人数へと変わる環境の変化など。心身の負担への気づき、フォロー体制についての考え方は。

答

事前交流学习の充実と、スクールカウンセラーの活用で負担軽減を図る。再編校に顔見知りや両校の教員を配置。朝の出発時間を考慮し、スクールバスなど交通の通学支援について十分議論を行う。

問

体操着、上履き、学校教材など指定品の保護者負担への対応は。

答

両校の指定品の活用など、保護者負担が大きくなるような議論を進めていただくよう、学校づくり部会を支援したい。



闇バイト強盗に空き巣被害…

高まる防犯意識への支援を!

問

地方は古い民家が多く防犯ガラス率は低い。ATMまでが遠く自宅に現金が多くある傾向。今後地方へ闇バイト被害が広がると言われている。他市町で導入されている防犯対策補助金への考えは。

答

他市の状況を注視し研究課題とする。

問

市直営防犯カメラ設置への考えは。

答

現状は検討していない。



会派に所属
しない議員ひさまつ みちお
久松 倫生 議員

市民クラブ

ひがしむら よしこ
東村 佳子 議員これからの財政運営とくらしの
課題を問う 特に水道料金

問 合併20年を経過して新しい予算編成となるが合併特例債が2024年度で終了する。財政の中期的展望は。

答 現状、合併特例債のように多様に活用でき交付税措置のある起債は他にない。

今後は、各事業に合わせて補助金や交付税措置のある起債の活用を進めていく。

問 市民負担や市民サービス低下につながるかということが一番心配する。

答 エビデンスに基づく政策立案を目標にする。市民サービスをより充実させるべく変えるべきところは変えていく。

問 水道の受水費決定は正念場。受水費の負担がいかに大きいか、声をあげていくことの大事さが示された。受水費を上げられると水道料金に跳ね返るしかない。

答 受水費が上がると水道料金の値上げも視野に入る。生活に直結する。消費者物価が上がり続けていてその中で根幹をなす水道である。そのことを県企業庁、県当局にも訴えて交渉していきたい。

意見 受水費の引き下げを求めていくが、引き上げだけは何としても食い止めるように強く思う。

その他の質問

- ・ 太陽光発電の不適切事例への対応
- ・ 戦後80年、昭和100年にあたって

デジタルの力を活用した
松阪の課題解決には

問 デジタルを活用した具体的な事例は。

答 市内のイベント情報をAI技術を用いて自動収集し、情報を一元的に集約・提供。またそれらの情報発信やアプリの機能を使って他の事業と連動させるツールとして松阪ナビの導入と活用。

問 人口減少対策や交流人口を増やす取り組みに活用されるデジタル田園都市国家構想交付金を活用した市の事例は。

答 交付金はデジタル技術を活用して地域の課題可決や魅力向上を図る取り組みを支援するためのもので、令和5年度に田舎暮らし交流移住促進事業における飯南高等学校へ県外からの入学生を募る取り組み、地域みらい留学に充当。

問 複数の課の連携、行政区を越えての連携など市として積極的な活用の検討は。

答 地方の活性化、行政・公的サービスの高度化・効率化を推進する取り組み、観光や農林水産業の振興等、地方創生に資する取り組み、地方創生拠点整備などさまざまに活用できるデジタル田園都市国家交付金を今後は検討していきたい。

意見 視察先の我が郷土の宝や先人からの財産を市を挙げて住民と共に未来にしっかりつないでいくという意志や取り組みを見習い、市でも未来につなぐ交流人口を増やすこと、残したい数々の伝統や文化財、町並み、デジタルの力を活用した松阪らしい今後の取り組みや施策に期待する。

松阪ナビトップ
ページ

公明党

おくて
奥出 かよ子 議員 **子どものための
質の高い保育環境の充実**

問 労働環境は守られているか。休憩は取れているか。

答 園に対し休憩時間を取れる工夫と一人でも多く取れるよう依頼。保育士へのアンケートは280人から回答。休憩を30分程度取ったと感じる職員は約半分。休憩場所は9割が自分の受け持ちクラスと職員室。別部屋との回答は1割であった。

問 休憩時間を取れない原因は何か。

答 休憩時間中に保育計画作成など保育業務システムへの入力作業の実態がある。休憩と実感できる部屋に入ることができていない。一時的に保育士が不足し休憩が取りにくい状況が発生している。

問 質の高い保育の改善は何をすべきか。

答 休憩場所の別部屋確保や休憩時間の声かけ。職員が不足の日はフリー保育士で対応しているが、十分とは言えない状況。

問 幼稚園やこども園は無資格者でも保育補助アシスタントがある。人手不足解消へ保育園はその体制がとれないか。

答 保育の職員不足に対して、無資格者や制度の活用も調査研究してまいりたい。

問 不適切保育について、市長の考えは。

答 子どもの命を守ることを最優先に大変な仕事であると認識している。いろいろなチャンネルで情報共有し働きやすい職場環境ができるよう努めている。

意見 現場の先生方が安心・安全に子どもに向き合える環境整備を進めてほしい。



政友会

いちの
市野 ゆきお
幸男 議員 **鎌中地域交流センターの
現状と課題**

問 鎌中地域交流センターの地域事務所には、公民館・住民自治協議会・まると相談室が同室に同居しているが、まると相談室はセンシティブな個人情報扱っている。相談者や電話対応はどうしているか。

答 相談に見えた方には、学校と地域の共有スペースである2カ所の小会議室や地域交流室を相談部屋として活用、電話相談の場合、子機を持って事務所近くの場所へ移動し相談業務を行っている。

問 まると相談室の性質上、公民館と住自協の事務局が同居している状況に問題はないのか。

答 同フロアに存在することで、地域状況の把握や地域づくりの連携がしやすいメリットがある。住自協側にもご配慮いただいております。ご負担をお掛けしてる一面は承知している。

意見 スペースを含め各組織がしっかりと活動できる拠点として整備を願いたい。

鎌田中学校

 **松阪クリーンセンターの
受入れ時間の現状**

問 昼休みなしの受付の考えは。

答 GW や年末など午前の受付時間において、車両の途切れがない場合、自発的に昼休みを2交代制として受付業務を実施。

問 土、日受入れの考えは。

答 違った形だが他市より受入れ日数は多い。

政友会



なかむら まこと

中村 誠 議員



防災倉庫の現状

問 防災倉庫と自動解錠ボックスの場所がかなり離れている学校があり、防災倉庫が非常に暗いところに設置しているところもある。照明が必要と感じるが、設置は可能か。

答 設置可能な場所も限られる中、利便性を最大に考慮して設置、離れた位置関係となっている場合もある。地域から要望があれば可能な範囲で対応を検討する。

防災倉庫への照明器具等は、災害発生時には停電を想定、電力供給を必要とする照明器具の設置というのは考えていない。ヘッドライトなどを各家庭等に準備していただくよう周知啓発に努める。

問 最近はソーラーパネルのパッシブセンサー式の照明もあるが、検討は。

答 新しいソーラー等の機材もあるかとは思うが、まずはヘッドライトの周知啓発に努めていく。



部活動地域連携および地域移行

問 松阪市の部活動の地域連携および地域移行の現状は。

答 地域人材を指導者として各校に配置、現時点では地域移行ではなく、コミュニティスクールを核とした地域連携を本市らしい部活動の在り方を研究していく。

その他の質問

・有害鳥獣対策



会派に所属しない議員



にしぐち まり

西口 真理 議員

生活保護世帯における
エアコン設置への支援拡大を！

問 熱中症による健康被害を踏まえ、厚生労働省では生活保護世帯に対し、一定の条件を満たす場合はエアコン購入費用の支給を認める通知を出している。松阪市において、令和6年度、支給を受けてエアコンを購入した件数は。

答 生活保護開始時点に3件支給している。

問 厚労省が定める支給要件が厳しく、壊れた時は対応されない。すべての生活費が物価高騰し、仕事をするのも難しい保護世帯が費用を捻出するのは困難。故障した場合の支給を認めること、6万7,000円の支給金額の上限の引き上げを国や県に強く要望していただきたい。

答 最近の夏の猛暑を考えると、単身世帯で熱中症で倒れ、命の危険につながることもあり得るので、強く現状を訴え、柔軟な対応を検討していただくよう伝える。

問 他市の取り組みとして、独自で上乗せして10万円の支給、故障の場合の買い替えも同様に支給されている所もある。市独自にこういう制度を検討いただけないか。

答 現在エアコンが使用できない世帯数を把握していないので、各戸訪問時に現状把握した上で今後の対応について他市の取り組みも含めて研究する。

意見 市民の命を守るために、前向きに検討いただきたい。

その他の質問

・松阪マラソンでの中学生ボランティア、昨年からの改善点は





東部中学校区内6小学校統合に 向けての進捗^{ちよく}と基本方針

問 各住民協議会の会長名で出された統合に向けた環境整備、駐車場の整備やスクールバスの乗降場所についての検討は進んでいるのか。

答 朝見小学校では、小学校周辺用地の確保に向け努力している。掃水小学校では、学校敷地内にて、安全対策を十分に施した上で整備を進めていきたい。

問 東部中学校区における教育の質を高めるということを具体的に示していただきたい。

答 小中学校9年間で統一した教育目標を掲げ東部中学校区において目指す子ども像をカリキュラムの中に位置づけ小中学校が一体となって取り組んでいく。

意見 やっぱり1小1中に向けた検討も今から始めていただきたい。



農地集約化、 農地バンクへの切替え

問 今回の農地中間管理機構への切り替えについてさまざまな疑問点がある。提出期限は、年内に書類等を作成しなければなりません。農地中間管理機構、松阪市農水振興課、JAみえなかさんとが一体となって説明会を開催すべきではないか。

答 市としていねいな説明に努めるとともに、JAなど関係機関と連携して、農地中間管理事業の活用を促してまいりたい。



木造住宅建築促進・松阪の木 利用促進の両補助金の一本化

問 「木造住宅建築促進事業」への一本化によるメリットは。また、どのような展開をしていくのか。

答 申請書の提出が1カ所になり、効率化が図られ、松阪材の使用量に応じた交付が可能となる。新たな申請者を増やすことで、松阪の木の需要拡大につなげる。

市内はもとより市外および県外への積極的なPRに取り組んでいく。新たな交付条件等については、現在精査中である。



「木のまち」 松阪市の森林環境教育の考え方

問 森林を支える社会づくりとなる森林環境教育や木育の推進は大切なこと。森林環境贈与税、Jクレジットの活用も踏まえた教育ができないのか。

答 財源には限りがあり、森林整備や木材利用、森林教育を含めた普及啓発等、総合的に活用方法を考えており、また、Jクレジットの販売収入は、今後の創出や森林整備等に活用していく。

問 森林教育がある程度満遍なくできるようなシステムを構築すべきでは。

答 「林業のまち」「林材業のまち」との側面がある。森林がもつ環境意識をどんどん子どもたちに学習してほしいと考える。また、森林が持つ多面的機能も学習してほしい。これから1つの課題として捉えていきたい。

▶
モクちゃん



「松阪の木」の
利用を推進
しています

イメージキャラクター
モクちゃん

松阪の木を使って補助金をもらおう!

市民クラブ



たちばな だいすけ

橘 大介 議員



公明党



おの けんじ

小野 建二 議員



身近な公園の改善・整備こそ必要

問 遊具の老朽化や草の生い茂り、管理が行き届いていないこと、新しい遊具の設置を望む声が市民から寄せられている。新しい公園整備の設置の可能性を聞く。

答 市における公園の整備状況について令和5年3月に松阪市総合運動公園（52.5ヘクタール）の建設事業が完了し、その結果、令和6年4月1日時点で市民1人当たりの公園面積は12.8平方メートルとなった。この数字は、都市公園法施行令で目標とされている1人当たり10平方メートルを上回り、さらに三重県平均の10.7平方メートルや全国平均の10.8平方メートルも上回っている。このような状況を踏まえ、現時点では新たな公園を整備する計画は無い。

問 1市4町が合併したことで総面積が623.58平方キロメートルに及ぶ広大な市となった。1人当たりの数字が平均値以上であっても、公園の配置やアクセスの公平性について、今後さらに検討を進めていただきたい。

答 これからの公園整備は面積を増やしていくのではなく、公園の維持管理に注力する時代になっている。

その他の質問

- ・ 令和6年9月能登半島豪雨における行方不明者の捜索

松阪市総合運動公園



福祉施設等が保有する車両で移動支援のマッチングを！

問 高齢者や障がいのある方など、福祉施設車両等の有効活用で、市民の皆さんの移動手段の一助となる可能性を検討し、市として福祉施設等にヒアリングなど開始していただき、福祉施設車両で移動支援のマッチングを提案するがいかがか。

答 高齢者等の支援として、紹介いただいた事例は有効なものであると考える。実現の可能性を探っていきたい。



有権者の皆様が投票所でより投票しやすい対応を！

問 裁判官国民審査は、裁判官に不信任と判断する人だけにバツをつけるのみでマルをつけると無効票になる。この認識でよいか。投票の啓発といった視点も大事であるので、改めて示していただきたい。

答 辞めさせたい意思があればバツを記載し、なければ何も記載せずに投票し、バツ以外を記載した投票は無効となる。

問 投票所において、裁判官国民審査の説明書面がより有権者の方々に確認しやすい現場環境の工夫を提案するがいかがか。

答 掲示板の数とか大きさ等を変更して、有権者に理解しやすく工夫していくようなことは可能である。国民審査の記載方法等の掲示物については工夫をし、有権者がより理解しやすいよう研究してまいりたいと考える。



まつおか つねお
松岡 恒雄 議員



の ろ かずひら
野呂 一平 議員



能登半島地震後の 木造住宅の耐震事業

問 設計費用補助の精密診断法とは。

答 精密診断法は壁や天井、床などを一部剥がし、内部の部材の寸法や材質、劣化状態を詳細に調査し、専用計算ソフトを用い建物全体の耐震性を評価する方法。

問 精密診断で効果が出た事例を集めて成果の周知・PRする事例集ができないか。

答 現在、精密診断法に基づく補強設計の補助利用実績がなく、県とも相談し今後の研究課題とさせていただきたい。

問 耐震診断後の耐震改修まで進まない方に対しアンケート等の取り組みは行ったか。

答 アンケート調査は行っていない。県の耐震補強工事を行わない理由の調査で、工事の多額の費用と高齢化と併せ、住宅の耐震化が進まない課題となっている。

意見 独自のアンケートもやってほしい。

問 耐震改修とリフォームの見える化エントリーシートが必要と思うが考えは。

答 補助制度の目的である耐震化を最優先に、ていねいな説明に努めてまいりたい。

問 令和6年能登半島地震における建築物構造被害の原因分析を行う委員会中間取りまとめで、平成12年までの建築住宅も耐震診断の促進や普及をしていくべきと明記された。本市の考えは。

答 国・県の動きを注視してまいりたい。

意見 昭和56年までの木造住宅の耐震化と平成12年までの建築住宅も耐震診断の促進・普及を是非取り組んでいただきたい。

▶
広報まつさか 11月号



改めて「自治体 DX」を考える

問 自治体 DX を進めていくにあたり、見えてきた課題は。

答 アナログからデジタルへの過渡期にあるため、逆に職員の業務負担が増加している部分が見受けられる。長期的な視点をしっかり持ち、将来の全体最適を目指した取り組みが重要である。

意見 歴史と伝統を誇るだけではなく、更なるDXと生成AIの活用により、暮らしやすく住んでいてよかったと思っていただけるような松阪市をめざしていただくことをお願いしたい。



これからの健康づくりを どう考えるのか

問 3人に1人の高齢者が不健康では「まちづくり」は立ちいかない。高齢者に限らず成壮年期に向けた、個人や自宅で取り組める「健康づくり」事業はあるのか。

答 行政チャンネルや動画での家でできる健康づくりの紹介や「ヘルスケアアプリ」の試験導入、65歳以上の方を対象とした「介護予防教室」を実施した。令和6年10月からは個人向け、自宅向けの初の取り組みとして「介護予防動画配信」を開始した。

意見 DXを活用して利便性を上げていくだけでなく、ICTも便利に活用して自分たちの健康年齢を上げていくような施策をお願いしたい。



市民クラブ



くすたに

楠谷 さゆり 議員



救急搬送患者への選定療養費について社会的弱者救済策を

問 選定療養費の請求に納得できないという事例が発生している。3基幹病院で共通認識を作っていくという答弁があったが、判断基準に近いものをすり合わせによって作ってほしい。また、弱者救済策として精神障害2級の人への医療費助成をお願いしたい。

答 2級の人数は1,032人で年間助成額は5,800万となるため研究課題と考える。

太陽光発電所について
条例の制定を

問 森林の伐採や休耕田を利用して太陽光パネル設置を進める民間事業者が増えてきた。改正再エネ特措法や県のガイドラインでは止められないと思う。能登半島地震の時には太陽光パネルが斜面から土砂と共に崩落し町道を塞いでしまった。全国で290以上の自治体が条例を制定している。松阪市の地域性に合わせた規制を考えてほしい。

答 条例に基づいた規制は強い抑止力になると思われるが、地域におけるメガソーラー開発の現状を踏まえると法やガイドラインで対応するものとする。

問 メガソーラー開発の現状とは。

答 市内で50キロワット以上は令和4年で3件、5年で3件、6年は0であり、大幅な減少である。

意見 今後できないとは限らない。

▶
太陽光
パネル会派に所属
しない議員

おがわ ともこ

小川 朋子 議員

健康福祉部の組織改編で
一歩踏み出した学習支援を

問 生活サポート係が保護自立支援課に編入となり事業推進はどう変わったか。

答 生活保護受給世帯の保護者に対してアプローチがしやすくなった。

意見 本市でも、委託を進めてみてはどうか。職員の思いが形になるように、直営のメリット、デメリットを洗い出し、より良い支援に向けての取り組みを願う。

防災は「地域コミュニティ」
「防災体力」「耐震化」

問 共助という観点から地域コミュニティは必要だと考える。市の考えは。

答 防災においても必要であるとする。

問 避難に必要な防災体力の推進に向け、部局間連携などの取り組みはあるか。

答 防災目的の体力づくりは行っていない。

問 最も多い圧死を含め、倒壊による死者を減らすためには、耐震強化は必要不可欠。木造住宅の耐震は進んでいるのか。

答 倒壊危険建物の戸数が減少していること、耐震補強の施工戸数が増加していることから少しずつ向上している。

意見 危険リスクが高い海辺の地域に、耐震改修モデル地区をつくって、町ぐるみで減災に取り組む仕組みづくりはできないものか。防災対策としての地域コミュニティ、防災体力、耐震化の事業推進は、防災対策課だけでは難しい。部局間を超えての今後の取り組みに期待する。

▶
防災を日常の習慣に

令和6年度 議員研修会

防災職員による能登半島地震被災地支援について



講師 防災対策課 防災担当参事

令和6年12月9日に議員研修会が開催され、被災地の状況や支援活動等についての説明がありました。

研修の目的

防災・減災に関する理解を深め、議会活動において地域の防災力向上に向けた取り組みに反映させていくこと。

「市民の福祉の向上を目指した議会活動の実現に向けて」～会津若松市議会における議会改革の取り組み～



講師 会津若松市議会 清川雅史議長

令和7年1月21日に議員研修会が開催され、会津若松市議会における議会改革の取り組みについての説明がありました。

研修の目的

会津若松市議会の取り組みを手本とし、さまざまな政策提案ができる議会として、議会力を向上させていくこと。

聞いてんか!

言うてんか!



第23回 議会 報告会

第23回議会報告会は
現地での開催と
動画配信を行いました。
会場ごとにテーマを設け、
意見交換会を実施しました。

詳細はこちらの
QRから
チェック!



11/9

文教経済委員会
「放課後児童クラブの方向性について」



11/7

環境福祉委員会
「健康づくりについて」



11/11

建設水道委員会
「空家等対策について」



11/13

総務企画委員会
「コミュニティセンター化について」



行政視察



議会運営委員会



▲長野県飯田市

「一般質問から政策提言に繋げていく」取り組み

長野県飯田市（1月9日）

質問力を議会力にするため、一般質問を政策資源とし「議員ひとりのものから」「議会のもの」へ⇒提起された政策を議会の共通価値観と捉え⇒議員集団の制作力向上＝議会力。



▲愛知県豊橋市

政務活動費

愛知県豊橋市（1月10日）

豊橋市は議員個人へ交付。松阪市は会派および会派に所属しない議員への交付としており、交付等使途においてメリット、デメリットもあるため、基準等の検討が必要と思われる。

宮崎市議会 DX「みやだん」

宮崎県宮崎市（1月23日）

議員に直接相談できるチャット機能を備えた、双方向型・完全スマホ対応のウェブサイトを立ち上げ、住民参加の促進と、議会活動の見える化の取り組みを進めている。

住民が参加できる デジタル議会「まちだん」

福岡県福岡市（1月24日）

宮崎市との協働で、一般質問等の議会活動のビジュアル化やインターネット上での交流促進を目指す取り組みにより、市民の政治参画を広げている。

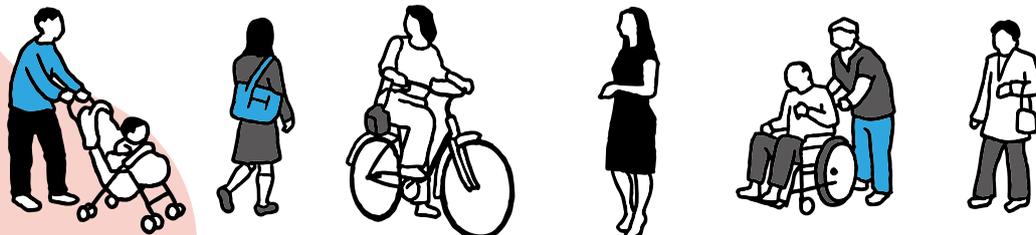
広報広聴委員会



▲福岡県福岡市
Gcomホールディングス株式会社



▲宮崎県宮崎市



文教経済委員会

放課後児童クラブ

岡山県岡山市(1月27日)

安定的な運営形態へ転換するため、公益財団法人岡山市ふれあい公社へ一括委託し、サービスや利用料金を平準化し、運営の一元化による事務や職員の集中管理が図られている。



◀岡山県岡山市

学校の元気応援事業

(スクールサポート事業)

広島県東広島市(1月28日)

退職教員等を学校支援者として派遣することで、教職員が子どもと向き合う時間を確保できる。養護教諭が研修により不在になる保健室の支援等、効果的な事例も確認できた。



▲兵庫県宝塚市

スクールロイヤー

兵庫県宝塚市(1月29日)

スクールロイヤーを配置し、カウンセラーやソーシャルワーカーとともに、事案の早期解決や重大化を防ぎ、また教職員の事案への対応力を高める取り組みを進めている。

「おやこDE広場」と「子育てコーディネーター」

千葉県松戸市(1月29日)

これらの事業が、地域の絆を深めきめ細やかなサポートを可能にしている。松阪市においても、地域全体での支援体制を強化し、子育てがしやすい環境づくりに取り組みたい。

▲千葉県君津市
日本製鉄株式会社

環境福祉委員会



▲東京都三鷹市 VR体験

ブルーカーボン事業

千葉県君津市(1月30日)

藻場の再生と土壌改善など、鉄鋼スラグを複合的に活用したブルーカーボンの創生を、松阪の「海」の未来へ活用できるように、さまざまな検討を重ねていきたい。

福祉Laboどんぐり山

東京都三鷹市(1月31日)

独自事業と高齢者介護へのアプローチは圧巻である。民間企業連携や研修サポートなど、家族介護者や介護従業者への細やかなフォローを松阪市の現場にも取り入れていきたい。





軽装勤務 始めました。

松阪市議会 議長

Inclusive Style



Business Casual

Business Casual

全国的な動向にならい、松阪市議会でも1年を通した軽装勤務の実証実験を始めました。

カーボンニュートラル対策や節電・省エネルギーの推進と共に、業務の効率化と働きやすい環境づくりの一環として、各自が過ごしやすい服装で従事しています。ネクタイやジャケットを禁じるものではなく、それぞれが品位ある服装で任意に活動するものです。

ご意見お待ちしております。

編集後記

7月の選挙から議員定数が24人に決まりました。身を切る改革としてお褒めいただく声もある一方で、4人も減ると少数意見を含む多様な声が届きにくくなるのではないかという、ご心配の声も届いてきております。これまで以上に、議員一人ひとりが市内全域に意識を巡らせていかねばならんと改めて思う次第です。特定団体や一部の地域のために議員がいるわけではなく、松阪市民お一人おひとりの生活や福祉の向上のため、議会全体で向き合っています。

広報広聴委員長 沖 和哉



今月号の表紙は松阪工業高等学校繊維デザイン科2年村田理緒さんの「ええんやで松阪」。

さるはじき、松坂城跡、松阪牛、ちゃちゃも、松阪茶、驛鈴を描きました。

令和7年5月定例会 の開催日程

会期
22日間

5/23	金	議会運営委員会
30	金	本会議（議案上程・提案説明）
6/5	木	本会議（議案質疑・委員会付託）
9	月	本会議（一般質問①）
10	火	本会議（一般質問②）
11	水	本会議（一般質問③）
12	木	本会議（一般質問④）
13	金	委員会（環境福祉・文教経済）
16	月	委員会（総務企画・建設水道）
20	金	本会議（議決）

みてんか103号の一般質問のページに誤りがありました。お詫びして訂正させていただきます。
P16 道の駅「飯高駅」の新業態・宿泊施設 答の4行目
《正》4月上旬
《誤》7月上旬



見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。